

2020年8月7日

「熱中症警戒アラート」開始に伴う、就業中断等の対応について

<提案の目的>

関東甲信地方にて、令和2年7月から10月第4水曜日まで、翌日又は当日の暑さ指数(WBGT)が33以上になることが予想される場合に、環境省と気象庁が共同で「熱中症警戒アラート(試行)」を発表し、熱中症への警戒を呼びかけがスタートしました。これをいい契機として長年の懸案事項でした、会員の熱中症予防を目的とした、就業ルールの検討を提案致します。

<対象就業現場>

植木剪定・除草作業(機械刈り・手作業)

各就業現場

<アラート発令時の就業ルール>

植木剪定・除草作業 → 原則中止とし、やむを得ない場合は午前中(12時)までの就業とする

各就業現場 → 各就業現場の環境や内容に即して、熱中症予防対策を、就業シフト表等に記載、就業先責任者へこまめな休憩や冷えるタオルなど対策を適宜講じることを伝え、会員が対策しやすいよう配慮する。

<就業規制適用の判断の流れ>

気象庁発表の時刻

- ①前日17時過ぎに翌日の暑さ指数(WBGT)が33以上を予想する場合に発表、当日朝5時過ぎにも発表。
- ②当日朝5時過ぎに新たに暑さ指数(WBGT)が33以上を予想する場合には、当日朝5時過ぎに発表。

関東甲信地方※のみなさまへ



熱中症警戒アラート

(試行)

環境省
気象庁
令和2年6月

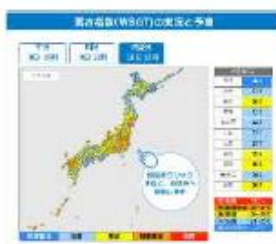
発表時の予防行動

※一都八県（東京・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・山梨・長野）

熱中症警戒アラートは、暑さへの「気づき」を呼びかけて予防行動をとっていただくための情報です。熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される際に、その前日夕方または当日早朝に発表されますので、以下のような予防行動を積極的にとりましょう。

1. 気温・湿度・暑さ指数を確認しましょう

- ・身の回りの気温・湿度・暑さ指数（WBGT）を測定する
- ・環境省や気象庁のホームページでも確認できる



2. 熱中症リスクの高い方に声かけをしましょう

- ・熱中症になりやすい高齢者、子ども、障害者の方々は十分に注意を
- ・3密（密集、密接、密閉）を避けつつ、周囲の方からも積極的な声かけをする



3. 外での運動や活動は中止／延期しましょう

- ・不要・不急の外出はできるだけ避ける
- ・エアコン等が設置されていない屋内外での運動や活動等は、原則、中止や延期をする



4. 「熱中症予防行動」を普段以上に実践しましょう

- ・環境省・厚生労働省から示している、「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントを心掛ける



- 暑さを避けましょう
- 適宜マスクをはずしましょう
- こまめに水分補給しましょう

https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/20200526_leaflet.pdf

令和2年度の熱中症予防行動

環境省
厚生労働省
令和2年5月

「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

新型コロナウイルスの感染に伴い、感染防止の3つの基本である身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いや、「3密（密集、密接、密閉）」を避ける等の「新しい生活様式」が求められています。このような「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントは以下のとおりです。

1 暑さを避けましょう

- ・エアコンを利用する等、部屋の温度を調整
- ・感染症予防のため、換気扇や窓を開くによって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整
- ・暑い日や暑気峠は我慢をしない
- ・涼しい服装にする
- ・急に暑くなった日等は特に注意する



2 適宜マスクをはずしましょう

- ・気温・湿度の高い中でマスク着用は要注意
- ・屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクをはずす
- ・マスクを着用している時は、自分のかかる吐息や重畳を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩を



3 こまめに水分補給しましょう



- ・のどが渇く前に水分補給
- ・1日あたり1.2リットルを目安に
- ・大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに

4 日頃から健康管理をしましょう



- ・日頃から体温測定、健康チェック
- ・体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で療養

5 暑さに備えた体作りをしましょう



- ・暑くなり他の時間帯から涼涼に運動を
- ・水分補給は涼しさに、体温のない状態で
- ・「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる速度で毎日30分程度

高齢者、子ども、障害者の方々は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。3密（密集、密接、密閉）を避けつつ、周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。

新型コロナウイルス感染症に関する情報：
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuunits/sunya/0000164700_00001.html
熱中症に関する詳しい情報：<https://www.wbgt.env.go.jp/>

より詳しい情報は…

環境省：<https://www.wbgt.env.go.jp/>気象庁：<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kurashi/netsu.html>

環境省 熱中症



熱中症が疑われる時の応急処置 <フロー>

CHECK 1

熱中症を疑う症状がありますか？

(めまい・失神・筋肉痛・筋肉の硬直・大量の発汗・頭痛・不快感・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感・意識障害・けいれん・手足の運動障害・高体温)



YES

CHECK 2

意識がありますか？

NO

① 救急車を呼ぶ



※1

救急車が到着するまでの間に応急処置を始めましょう。意識がないのに、無理に水を飲ませてはいけません。

YES

② 涼しい場所へ避難し、服をゆるめ体を冷やす

CHECK 3

水分を自力で摂取できますか？

NO

② 涼しい場所へ避難し、服をゆるめ体を冷やす



水や濡れタオルで体を扱い、風を送る。氷のうなどがあれば、首、腋の下、太腿のつけ根を集中的に冷やしましょう。

YES

③ 水分・電解質を補給する



スポーツドリンク(ナトリウムを100mℓあたり40～80mg含んでいる飲料)や経口補水液が有効です。

CHECK 4

症状がよくなりましたか？

NO

医療機関へ



現場にいた人が付き添い、発症時の症状を伝えましょう。

YES

※2

そのまま安静にして十分に休息をとり、回復したら帰宅しましょう